

# 東海・重イオン科学シンポジウム 2026 —タンデム加速器成果報告会—

日程：2026年1月7日（水）～8日（木）

場所：日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 先端基礎交流棟大会議室

## プログラム

2026年1月7日（水） 1日目

13:05～13:50 (45分) 加速器・将来計画

- 1) 開会挨拶 原子力科学研究所長 前田 敏克 (5)
- 2) 東海タンデム加速器の運転と開発 (15+5) 中村 暢彦 (JAEA)
- 3) 将来計画—東海重イオン科学フロンティア施設— (15+5)  
西尾 勝久 (JAEA)

【13:50～14:00 (10分) 休憩】

14:00～15:00 (1時間) 核物理・核化学

- 4) 変形閉殻原子核  $^{252}\text{Fm}$  のガンマ線核分光 (15+5)  
Riccardo Orlandi (JAEA)
- 5) ビッグバン元素合成における  $^7\text{Be}$  分解反応  $^7\text{Be}(\text{n},\text{p}_1)^7\text{Li}$  の研究 (15+5)  
岩佐 直仁 (東北大学)
- 6) 環境中の極微量人工放射性同位体測定のためのスパイク・トレーサー創製 (15+5)  
坂口 綾 (筑波大)

【15:00～15:20 (20分) 休憩】

15:20～16:20 (1時間) 照射効果・材料物性

- 7) 高速重イオン照射による  $\text{ZrO}_2$  相転移の XAFS 構造解析 (15+5)  
吉岡 聰 (大阪公立大)
- 8) 高緻密性薄膜へのイオン照射で探る高温超伝導材料の最適組織 (15+5)  
松井 浩明 (産総研)
- 9) 高エネルギーイオン照射した  $\text{SiO}_2$  におけるナノ構造形成：TEM 観察研究 (15+5)  
石川 法人 (JAEA)

16:20～17:40 ポスターセッション (1時間20分)

【18:30～20:30 懇親会（久慈サンピア日立）】

2026年1月8日(木) 2日目

9:00～10:20 (1時間20分) 核物理・核化学

- 10) 理研における新元素合成研究 (15+5) 森本 幸司 (理研)  
11) 加速器中性子を利用した RI 合成と  $^{225}\text{Ac}$  の供給 (15+5) 塚田 和明 (東北大)  
12)  $^{258}\text{Md}$  原子核の核分裂モード (15+5) 西尾 勝久 (JAEA)  
  
13)  $^{254}\text{Es}$  のクーロン励起 (15+5) 井手口 栄治 (阪大 RCNP)

【10:20～10:40 (20分) 休憩】

10:40～12:00 (1時間20分)

- 14) 半導体の放射線応答予測手法の改善研究 (15+5) 河原 宏昭 (JAXA)  
15) 重イオン照射を活用した先端マグノニクス研究 (15+5) 家田 淳一 (JAEA)  
16) 大強度電子加速器を利用した有用 RI 製造 (15+5) 菊永英寿 (東北大)  
17) KEK 素核研和光原子核科学センターにおける核分光研究の現状 (15+5) 渡辺 裕 (KEK)

【12:00～13:00 (1時間) 昼休み】

13:00～14:20 (1時間20分) 照射効果・材料物性、原子物理

- 18) 高速重イオン照射によるシリカガラスのリング構造の変化 (15+5) 栗津 浩一 (産総研)  
19)  $\text{C}_{60}$  イオン照射によるイオントラックの低エネルギー化・長さ増加・ドット形成 (15+5) 雨倉 宏 (NIMS)  
20) 「高速荷電粒子照射における固体内散乱電子輸送過程」 (15+5) 富田 成夫 (筑波大学)  
21) 「重イオン照射による磁性絶縁体の磁気加工」 (15+5) 針井 一哉 (QST)

【14:20～14:40 (20分) 休憩】

14:40～16:00 (1時間20分) 核物理・核化学

- 22) 超アクチノイド元素研究に向けた気相・液相化学的アプローチ (15+5)  
佐藤 哲也 (京都大学)
- 23) 直接代理反応による中性子断面積の測定 (15+5)  
牧井 宏之 (JAEA)
- 24)  $^{211}\text{At}$  を利用した放射能・化学形同時分析技術の開発 (15+5)  
瀬川 麻里子 (JAEA)
- 25) 反跳生成核分離装置を用いた多核子移行反応生成核のアイソマーと基底状態の生成比  
(15+5)  
洲崎 ふみ (JAEA)

閉会挨拶 研究基盤技術部 部長 永富 英記